



左から多田京子さん、多田シツエさん、多田順一さん

住宅火災の消火活動を行い、延焼を防いだ宮守町連管部の住民5人へ、市消防本部から感謝状が送られました。1月7日、郵便配達中の多田京子さんが、同地区の民家から煙が出ているのを発見。多田シツエさんに協力を求め、駆け付けた住民とバケツリレーで消火活動を行い、小範囲のほやで食い止めました。

多田京子さん(52)、多田シツエさん(63)、多田順一さん(61)、千葉龍さん(71)、千葉カズエさん(60)

◆初期消火に尽力した5人へ感謝状

レタスの種子の発芽と光の関係を検証した「植物と光に関する研究」で、2年連続となる最優秀賞を受賞しました。阿久津君は「3年間の活動の中で、コツコツ継続していくことの大切さを学んだ」と、菊池君は「研究をまとめたり、発表する力が付いた」と、藤田君は「実験を通じて基礎から応用まで学ぶことができた」とそれぞれ受賞の喜びを話していました。



受賞を喜ぶ左から藤田君、菊池君、阿久津君

◆県高校総合文化祭自然科学専門部門 最優秀賞

遠野高校理科研究部
阿久津克輝君、菊池修平君、藤田貴之君(ともに3年生)

◆水と緑を守り育てる活動知事感謝状

同賞は、水環境や森林の保全、環境教育に積極的に取り組む個人や団体を表彰するもので、市内の2団体、1個人が選ばれました。

葛西四朗さん (80歳・綾織町)

葛西さんは市内小中学校や児童館などに出向き、水環境教育に取り組んでいます。また自宅敷地内に「遠野虫のギャラリー」を設置し、日本国内外の昆虫を展示するなど、地域の環境意識の向上に貢献しています。

葛西さんは退職後、平成6年に遠野へ移住。「ふるさと遠野郷の森と川を守り育てる協議会」会長を務めるなど、自然環境保護のため積極的に活動しています。



児童に水生生物について講義する葛西さん

船渡公園ビオトープ (多田勇代表、会員23人)

同団体は、農村公園周辺の清掃、生態系の保全などに取り組み、水環境の保全や地域の環境意識の高揚に貢献しています。

平成20年には、東北横断道釜石秋田線の建設予定地に自生するサクラソウ約390本を、地区民が一体となって保存する取り組みを行いました。また、農業用水路の清掃、泥上げ、草刈り作業などのほか、コイ、フナなどの魚や自生植物の保全にも努めています。



船渡公園整備活動に参加する子どもたち

土淵町第10区自治会 (立花延尚会長、57世帯)

同自治会は、毎年地区内の河川清掃や間伐作業を積極的に行い、里山環境の保全と水源の確保に貢献しています。

国道340号沿いにある同自治会は、山林の育成とともに景観の保全にも努めようと地区内の山林の間伐を実施。19年度は谷地地区、20年度は倭文神社敷地内山林の間伐を行いました。作業には、地域の小・中学生も一緒に参加するなど、地域住民相互の親睦も深めています。



間伐作業に励む同自治会の皆さん



2010. 03
No.57

広報

●目次

- 02 風の人
菊池ナヨさん
(あやおり夢を咲かせる女性の会・会長)
- 04 [特集]
ファンタジーという名のハーモニー
- 10 市からのお知らせ
地上デジタル放送は遠野テレビで/遠野行政センターが新体制でスタート
- 12 ニュース&トピックス
原口大臣が視察で来遠/市進化まちづくり検証委員会開催/連管部児童クラブ開所式/みんなで確認・語ろうタフビジョン開催/たかむろ水光園入園者250万人達成/スポーツ大会成績
- 14 学びのいずみ
平成22年度少年少女ふるさと発見探偵団&子ども活動サポーター募集/スポーツ安全保険に加入しましょう/石こうデッサン教室・太極拳教室/社会教育団体登録/遠野ウオーキング協会からのお知らせ/おすすめしたい本ほか
- 16 まちの話
第27回遠野昔ばなし祭り/佐々木マチノさんが100歳/バレンタインイベント/遠野北小で模擬投票教室/情報ビジネス校で閉校事業/地域トピックス(綾織町・土淵町)
- 18 ふれあい広場
わが家のアイドル/大きくなったら何になりたい?/サークルクラブ紹介/青春のトーク/ともに歩んで半世紀
- 20 おしらせ
- 22 保健福祉情報館
休日急患診療当番医/移動献血車/わらすっこだより/おめでた/おくやみ など
- 23 市民カレンダー
- 24 遠野遺産
旧青笹村役場庁舎



◎表紙の写真

上宮守文化振興会(阿部啓悦会長)は2月13日、国道396号沿いを2千本のキャンドルで彩る「冬ぼたる鑑賞会」を開きました。昨年に続き2回目の今年は『遠野物語』発刊100周年を祝い「トオノ100」の文字も製作。棚田に浮かび上がる幻想的な景色を楽しみました。



2月20日に水光園で行われた「岩手なべ端会議」。大盛況に笑顔を見せる菊池ナヨさん

女性ならではの視点で 魅力ある農村づくり発信

菊池ナヨさん

62歳・あやおり夢を咲かせる女性の会会長

「第10回岩手なべ端会議」のフィナーレ。ステージには、軽快なステップのウエスタンダンスを生き生きと踊る農家のお母さんたちがいた。その中心で、ひときわ輝く笑顔を見せた菊池ナヨさん。主催する「あやおり夢を咲かせる女性の会」会長として、今回で一区切りと決めた催しを万感の思いで迎えた。「地元の料理を持ち合い交流を図りながら、現代の食をあらためて考えよう」と始めたもの。

目的は果たせたと話す。平成9年に完成した全国初となる「田んぼの中のトイレ」への発案・参画をきっかけに、同会を結成。以来、30人の会員とともに、「夢咲き茶屋」の運営や綾織小児童への裂き織り体験指導など、女性ならではの視点で夢を語り合い、魅力ある農村づくりを発信してきた。「なべ端会議」は毎回大盛況。活動の成果は今や綾織の域を出て市外、県外へも波及している。

農村女性のイメージを変える数々の活動が評価され、1月30日には市内で二人目となる「第19回農民文化賞」を受賞した。「受賞は会員みんなのおかげ。常に前向きな会員たちにも支えられている」と感謝する。「思い立ったらやってみる」がモットー。「『遠野物語』発刊100周年の年。100年前を振り返り、今こそ先人の貴重な知恵を掘り起こしたい」。次なる夢に向かって走り出している。

※農民文化賞
岩手農民大学創学10周年を記念して、平成元年に制定。地域の農業や文化に顕著な成果をあげた個人・団体を表彰する。本年度は、菊池ナヨさんのほか1団体が受賞。